

201218013A

厚生労働科学研究費補助金

認知症対策総合研究事業

認知症のための縦断型連携パスを用いた  
医療と介護の連携に関する研究

平成24年度 総括・分担研究報告書

主任研究者 池田 学

平成25 (2013) 年3月

厚生労働科学研究費補助金

認知症対策総合研究事業

認知症のための縦断型連携パスを用いた  
医療と介護の連携に関する研究

平成24年度 総括・分担研究報告書

主任研究者 池田 学

平成25（2013）年3月

# 目次

## I. 総括研究報告書

認知症のための縦断型連携パスを用いた

医療と介護の連携に関する研究----- 1

熊本大学大学院生命科学研究部 脳機能病態学分野 池田 学

## II. 分担報告書

### 1. 特発性正常圧水頭症に対する認知症医療連携の実態

—熊本県基幹型認知症疾患医療センター入院症例による検討— -----39

熊本大学医学部附属病院神経精神科 橋本 衛

### 2. 地域拠点型認知症疾患医療センターを中心とした

医療と歯科医療との連携の展開-----43

熊本大学大学院生命科学研究部 神経精神医学分野 石川智久

### 3. 背景基盤の異なる認知症専門医療の比較検討

—認知症専門医療レベルでの連携の在り方— -----48

熊本大学大学院生命科学研究部 神経精神医学分野 矢田部裕介

### 4. 認知症患者における未治療期間の検討-----52

高知大学医学部神経精神科学教室 上村直人

### 5. 医療と介護との連携を図るための予備調査

—介護専門職からみた認知症診療を行う医師への印象— -----56

愛媛大学大学院医学系研究科 脳とこころの医学 谷向 知

### 6. BPSD の治療を目的とする認知症病棟における

退院時看護サマリーの改善に関する研究-----59

公益財団法人浅香山病院 釜江（繁信）和恵

### 7. 介護環境のニーズに関する調査-----61

東京慈恵会医科大学 精神医学講座 角 徳文

## III. 研究成果の刊行に関する一覧表----- 65

## IV. 研究成果の刊行物・別刷----- 71

# I. 総括研究報告書

厚生労働科学研究費補助金(認知症対策総合研究事業)  
総括研究報告書

認知症のための縦断型連携パスを用いた医療と介護の連携に関する研究

主任研究者 池田 学 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野

研究要旨 本年度、縦断研究用連携パスの試作版を用いて、100名の対象を用いて予備的研究を実施し、介護者、ケアマネージャー、かかりつけ医、専門医の意見を集約して、予定通り本調査用のパスを完成させた。本調査の登録予定人数は、熊本県認知症疾患医療センター全体で1000名、その他のサイトは各150名である。熊本県内の認知症疾患医療センター10カ所、都市型サイト2カ所、地方都市・中山間地域サイト2カ所で、追跡調査の対象を登録開始した。パスの作成に予定よりも時間を要したため、これらの14サイトを予定より4ヵ月遅れで、11月から半年間の間に受診した、在宅認知症患者の介護者に、縦断研究用連携パス（火の国 あんしん受診手帳）を手渡し、同時にかかりつけ医とケアマネージャーに登録と研究の趣旨を連絡して協力を求めている。なお、今年度、分担研究者の海外留学と異動により担当者が変更になった東京都のサイトに関しては2013年1月から、愛媛のサイトに関しては2013年3月から手渡しを開始している。

#### A. 研究目的

認知症ケアに関するこれまでの医療と介護の連携は、かかりつけ医のケア会議への参加、連携パスなど、横断的な連携である。一方で、認知症関連施設の介護担当者や嘱託医が、個々の認知症患者がそれまでに受けてきた医療情報を入所時に得て、疾患の特徴に基づくケアの実践や、漫然とした薬物投与の防止につながるような縦断的な連携が求められている（特別養護老人ホームにおける認知症高齢者の原因疾患別アプローチとケアの在り方調査研究 報告書, 2011）。本研究では横断的だけでなく縦断的連携を重視することにより、医療と介護のさらなる有機的な連携を行うために有用なシステムの構築を確立することを目的とする。

#### B. 研究方法

まず、熊本県認知症疾患医療センターにおいて、縦断研究用連携パスの試作版を用いて、100名の

対象を用いて予備的研究を実施し、介護者、ケアマネージャー、かかりつけ医、専門医の意見を集約して、本調査用の縦断研究用連携パス（火の国 あんしん受診手帳）を完成させた（本報告書に掲載）。

そして、熊本県内の認知症疾患医療センター10カ所、都市型サイト2カ所（東京都、大阪府）、地方都市・中山間地域サイト2カ所（高知県、愛媛県）で、追跡調査の対象登録を開始した。これらの14サイトを11月から半年間の間に受診（初診、再診を問わない）した、在宅認知症患者の介護者に、縦断研究用連携パスを手渡し、同時にかかりつけ医とケアマネージャーに登録と研究の趣旨を連絡して協力を求めた。さらに、熊本県の10サイトでは、家族に対して連携パス使用に関するアンケート調査を実施した。なお、今年度、分担研究者の海外留学と異動により担当者が変更になった東京都と愛媛県のサイトに関しては、2013年1月から手渡しを開始している。

(対象者)

登録予定人数は、熊本県認知症疾患医療センター全体で 1000 名、その他のサイトは各 150 名である。

### C. 研究結果

(配付実績)

今年度中の配付実績は、熊本県が 351 件、東京都が 20 件、大阪府が 150 件、愛媛県が 0 件、高知県が 30 件である。

(家族アンケート)

現時点で、64 件が回収できている。

手帳配付時の説明については、概ね分かりやすかったという感想が得られた。

配付時の説明について	件数
①分かりやすかった	39
②まあまあ分かりやすかった	20
③分かりにくかった	3
④分からなかった	0
合計	62

今後も、この手帳を活用したいと答えた家族は 57 件で、活用したくないと答えた家族は 7 件であった。

配付後、かかりつけ医や疾患センターの専門医に手帳を見せているかという質問に対しては、約 3 割が見せていないという結果であった。見せた者のうち、8 割は手帳の記載に医師の協力が得られていた。

かかりつけ医、センターの先生に手帳を見せてもらったか	件数
①はい	39
②いいえ	7
③見せてない	10
④持っていくのを忘れた	1
合計	57

### D. 考察

予備的研究を経て完成させた火の国あんしん受診手帳は、各センターのスタッフだけでなく認知症医療連携協議会の委員や他の大学病院の専門医にも供覧し、協議を重ねた上で出版したため、当初の予定よりも約 1 ヶ月の遅れが出た。また、分担研究者の海外留学と異動により担当者が変更になった東京都のサイトに関しては、さらに約 2 ヶ月、愛媛のサイトに関しては約 4 カ月の遅れが出た。

配付開始から現在まで火の国あんしん受診手帳について、配付者やかかりつけ医、介護担当者からの問い合わせがほとんど寄せられていない。このことは内容説明や協力依頼の説明を各センターで統一し分かりやすく行った結果であると考えられる。

家族に対して実施したアンケート調査においても、配付時の説明は概ね分かりやすかったという結果であった。フリーコメント欄では、「情報が共有できる」「状態の変化がわかる」等、有用である内容が多かった一方、配付開始より最長でも 3 ヶ月余りであるため、「始めたばかりでわからない」という回答も多かった。今後さらに追跡を行い、長期的に活用した有用性も検証する必要がある。また活用開始後に、内容に追加が必要な項目や削除を検討すべき項目も上がってきており、更なる改良も必要である。

### E. 結論

縦断研究用連携パス（火の国 あんしん受診手帳）の配付を開始し、当初の予定よりも若干の遅れはあるものの次年度前半には予定の 1600 名に配付可能な状況である。活用状況については、引き続き調査を継続していく必要がある。

研究協力者 丸山貴志, 小嶋誠志郎, 板橋 薫 (熊本大学医学部附属病院神経精神科)

### F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

- Uetani H, Hirai T, Hashimoto M, Ikeda M, Kitajima M, Sakamoto F, Utsunomiya D, Oda S, Sugiyama S, Matsubara J, Yamashita Y. Prevalence and topography of small hypointense foci suggesting microbleeds on 3T susceptibility-weighted imaging in various types of dementia. *Am J Neuroradiol*. 2012. [Epub ahead of print]
- Honda K, Hashimoto M, Yatabe Y, Kaneda K, Yuki S, Ogawa Y, Matsuzaki S, Tsuyuguchi A, Tanaka H, Kashiwagi H, Hasegawa N, Ishikawa T, Ikeda M. The usefulness of monitoring sleep talking for the diagnosis of dementia with Lewy bodies. *Int Psychogeriatrics* 2013. [Epub ahead of print]
- Ogawa Y, Hashimoto M, Yatabe Y, Kaneda K, Honda K, Yuuki S, Hirai T, Ikeda M. Association of Cerebral Small-Vessel Disease with Delusions in Alzheimer's Disease Patients. *Int J Geriatr Psychiatry* 28 : 18-25, 2013
- Mori E, Ikeda M, Kosaka K. Donepezil for dementia with Lewy bodies: a randomized, placebo-controlled trial. *Ann Neurol* 72 : 41-52, 2012
- Shinagawa S, Yatabe Y, Hashimoto M, Nakayama K, Ikeda M. A comparison of family care infrastructure for demented elderly in inner cities and regional areas in Japan. *Psychogeriatrics* 12 : 159-64, 2012
- 品川俊一郎, 今村 徹, 矢田部裕介, 橋本 衛, 中山和彦, 池田 学. 3地域における認知症家族介護基盤の比較検討. *精神医学* 54 : 501-507, 2012
- 繁田雅弘, 河野禎之, 安田朝子, 木之下 徹, 内海久美子, 奥村 歩, 繁信和恵, 川嶋乃里子, 高橋 智, 玉井 顯, 平井茂夫, 水上勝義, 山田達夫, 八森 淳, 元永拓郎, 池田 学, 朝田隆, 本間 昭, 小阪憲司. 専門医を対象とした認知症診療のあり方とその手法に関する面接調査. *老年精神医学雑誌* 23 : 466 - 480, 2012

- 北川泰久, 中島健二, 池田 学, 三上裕司, 羽生春夫. 座談会 認知症診断・治療の進歩と医療連携. *日本医師会雑誌* 141 : 501-513, 2012
- 丸山貴志, 西田まゆみ, 坂本眞一, 池田 学. 既存の精神科病院をつなぐ地域ネットワーク, 熊本方式の現状と課題. *老年精神医学雑誌* 23 : 568-571, 2012

### 2. 学会発表

- Ikeda M. Symposium: Dementia from a cross-cultural perspective. The outreach intervention for early-onset dementia by multi-disciplinary staffs in Japan. Biennial meeting of World Federation of Neurology, Research Group of Aphasia & Cognitive Disorders, Hyderabad, India, December 9-12, 2012
- Ikeda M. Session: Alzheimer's disease. Therapeutic Strategies in Dementia with Lewy bodies. 28th International Kumamoto Medical Bioscience Symposium, Kumamoto, November 15-16, 2012
- Tsuyuguchi A, Hashimoto M, Yatabe Y, Ikeda M. Depression and apathy in the four major dementias. Asian Workshop on Geriatric Psychiatry, Tokyo, September 15, 2012
- (Keynote Address) Ikeda M. Older Adults and Mental Health in the Face of Natural Disasters – Tohoku Tsunami Disaster. International Psychiatric Association International Meeting 2012, Cairns, Australia, September 7-11, 2012
- (Poster) Hasegawa N, Koyama A, Hashimoto M, Ishikawa T, Yatabe Y, Kaneda K, Honda K, Yuuki S, Ogawa Y, Araki K, Ikeda M. Depressive state in caregivers of patients with dementia. International Psychiatric Association International Meeting 2012, Cairns, Australia, September 7-11, 2012
- Ikeda M. Symposium: Vascular cognitive impairment. Vascular lesions in neuro-degenerative dementia. 6th Congress of Asian Society Against Dementia, Kuala Lumpur, June 14-16, 2012
- Ikeda M. Symposium: Psychosocial intervention. Outreach intervention for early-onset dementia by

multi-disciplinary staffs. 6th Congress of Asian  
Society Against Dementia, Kuala Lumpur, June  
14-16, 2012

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし



医療-介護連携のための

# 火の国 あんしん受診手帳



© 2010 熊本県 くまモン

熊本県認知症疾患医療センター

## この手帳の利用目的

この手帳は、患者様が診断を受けてから、在宅生活を続けられる間、ずっと持ち歩いていただくことにより、認知症疾患医療センターなどの専門医とかかりつけ医や介護施設職員が、過去のもの忘れに関する受診状況や現在の状態について確認し、ご本人やご家族への今後の支援を円滑に行う手段として考案されました。

また、この手帳を長期にわたり持っていただき、患者様が、施設入所や長期入院になった際に施設の嘱託医、主治医や担当者にこれまでの受診の経緯が一目でわかり、患者様に応じたケアやより安全な治療につながることを期待されます。

なお、この手帳は厚生労働科学研究費ならびに熊本県からの支援で作成しております。

## 医療、介護関係者へのお願い

この手帳は、患者様の医療、保健、福祉サービスの連携を円滑にし、必要な薬剤使用の理由や注意について本手帳に記載いただくことで、薬物の重複投与を予防し、入院・入所時にも担当者が適切な情報を共有することを目指しています。かかりつけ医と専門医、ケアマネジャーや介護事業所との連携をより充実させるため、医療機関のページにはできるだけ医療情報を、またケアマネジャーなど介護事業所にはお薬の管理状況、在宅サービスの状況、変更の理由など積極的に記載していただきたいと思っております。家族を含めた患者様自身のQOL維持につながるものを開発していきたいと考えておりますので、研究の趣旨に賛同いただき、どのような医療、ケア情報でも結構ですので記載をしていただけましたら幸いです。

なお、本研究は厚生労働科学研究（認知症対策総合研究事業）「認知症のための縦断型連携パスを用いた医療と介護の連携に関する研究」として実施されます。

先生とケアマネジャーの記載のポイントについては、別添えの使用マニュアルをご参照ください。何卒、よろしくお願い申し上げます。

## 利用上のお願い

手帳を利用される方へ

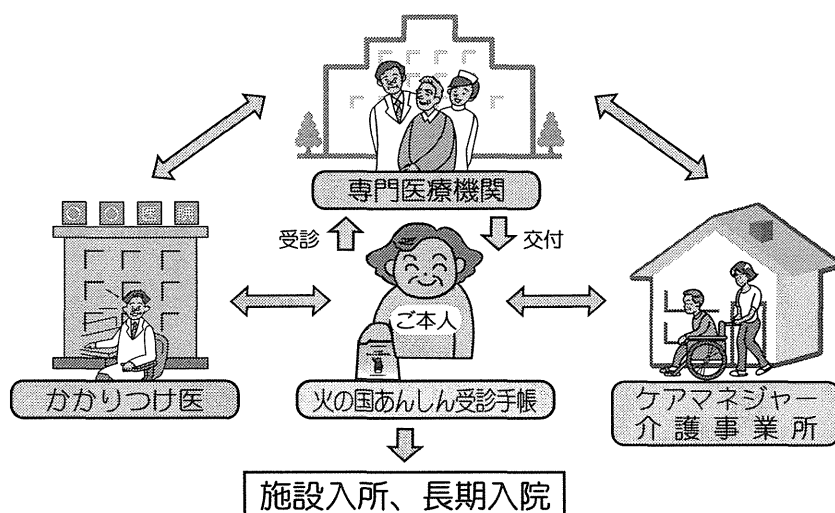
- ・受診の際には『ご家族が記入してください（最初に受診した時の情報）』『ご家族かケアマネジャーの方が記入してください』と印字されているページの記入にご協力ください。（P3～P13）

※ご本人が医療機関を受診する際や介護サービスを利用する際に携帯し、担当医や介護サービス担当者に見せてください。

- ・ご家族とケアスタッフとの連携、ご家族やケアスタッフからかかりつけ医や専門医への相談時などに、この手帳を見せてください。
- ・使い方・記入方法（P1～P2）を記載しておりますので、ご参照ください。

かかりつけ医、専門医の方々へ

- ・「火の国 あんしん受診手帳」をもって来院された時、もしくは専門外来受診が必要と思われた時に、お薬情報、検査データなどを記入してください。また、連絡ノートは診療情報提供書としてもご活用できます。（P15～P20）
- ・別冊に使用マニュアルがありますのでご参照ください。



# もくじ

- I 使い方・記入方法 . . . . . 1～2
- II ご家族が記入してください  
（最初に受診した時の情報） . . . . . 3～7
- III 介護保険の情報 . . . . . 9～10
- IV 関わっている人一覧・かかりつけの医療機関  
. . . . . 11～13
- V 認知機能評価スケール . . . . . 15
- VI お薬情報 . . . . . 16～18
- VII 検査データ . . . . . 19～20
- VIII 連絡ノート . . . . . 21～26

火の国あんしん受診手帳の使い方・記入方法

## ご家族の方へ

● 「ご家族が記入してください（最初に受診した時の情報）」（P. 3～7）にご本人の基本情報を記入してください。

体重などはデイサービス等に通われている方はデイサービスに行かれた際に測る場合もありますので、測った時で構いません。

不明なところは無理に記入しなくても構いません。空けておいてください。

連絡ノート〔家族、介護施設用〕のページに今までなかった症状が現れたときなど、担当医や介護担当者に知ってもらいたい情報があれば「先生に伝えたいこと、困っていること」（P21～22）に記入してください。また「連絡・質問」のページ（P23～26）もご活用ください。書くときには必ず相手を指名してください。

情報を共有することが大切ですので、ご家族あての記事でなくても、必ず読んで「確認サイン」にサインしてください。

連絡ノート〔家族、介護施設用〕  
先生に伝えたいこと、困っていること  
〔 年 月 日 記入者： 〕  
当ではまる番号に○を記入して下さい。

- 1 もの忘れが増えた。( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 2 何度も同じことを聞く。( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 3 曜日、日付がわからない。( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 4 火の不始末がある。( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 5 止めでも車を運転しようとする。( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 6 訪問販売で高額な物を買ってしまうなど、金銭問題がある。( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 7 昼夜問わず用もないのに外出しようとする。( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 8 何もしようしない、何事にも関心がない(入浴、着替えを嫌がるなど)( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 9 抑制が効かない。社会的なルールが守れない。(万引きなど)( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 10 物や食品を盗られたらといって大騒ぎする。( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 11 誰かが危害を加えようとしているなどの妄想がある。( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 12 ありもしない音が「見える」「聞こえる」ようだ。( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)

- 21 -

連絡ノート〔家族、介護施設用〕

連絡・質問  
例) (デイサービス) から ( ) から ( ) に ( ) につけ添 ( ) に ( ) につけ添 ( ) に ( ) につけ添  
平成29年 4月 1日  
先日、お方いた ( ) の ( ) を ( ) するようになり、日中のふらつきがひどくなり、転倒のリスクが高まっています。

回答  
( ) 様から ( ) 様へ ( ) について、様子をみて下さい。

回答者: ○○クリニック 医師

確認サイン (関係者で確認された方はサインしてください)

( ) から ( ) に ( ) につけ添 ( ) に ( ) につけ添 ( ) に ( ) につけ添  
年 月 日

回答  
( ) 様から ( ) 様へ ( ) について、様子をみて下さい。

回答者: ( )

確認サイン (関係者で確認された方はサインしてください)

- 23 -

※患者様が施設入所、長期入院された場合はこの手帳を受け取った医療機関（認知症疾患医療センター）へ必ずご連絡ください。

また、この手帳を入所先、入院先の担当者へお渡しください。

## 同意書

私は本手帳に記載されている個人情報を、医療機関・介護サービス事業所などへ情報提供することに同意します。

この手帳は家族もしくは介護者に責任を持って保管させます。

平成 年 月 日

氏 名 \_\_\_\_\_

署名代行者名 \_\_\_\_\_ 続柄 \_\_\_\_\_

上記に同意し、家族（介護者）で責任を持って保管します。

家族等氏名 \_\_\_\_\_ 続柄 \_\_\_\_\_

ご家族が記入してください（最初に受診した時の情報）

記入日： 年 月 日 記入者（ ）

ふりがな

患者氏名 性別（男・女）

生年月日 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 才

現在の生活状況 在宅 ・ 施設名（ ）

同居している家族の構成

在宅の場合：

例）妻と長男夫婦の4人暮らし

主に介護をされている方のお名前

続柄：

ご家族や施設の方と必ず連絡のつく電話番号

お名前・施設名

ご関係

電話番号

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



ご家族が記入してください (最初に受診した時の情報)

○受診される方について

身長 \_\_\_\_\_ c m

体重 (k g) は血液検査データのページ (P17)にお書きください

○利き手 右 ・ 左

○アレルギー 有 ・ 無 (お薬 / 食べ物 )

○禁忌薬 有 ・ 無 (お薬 )

○アルコール (年数と摂取量) 約 \_\_\_\_\_ 年間  
1日 ビール・酒・焼酎 ml  
現在の飲酒 有・無

○たばこ (喫煙年数と本数) 約 \_\_\_\_\_ 年間  
1日 約 \_\_\_\_\_ 本  
現在の喫煙 有・無

○難聴 有 (右・左) ・ 無

○視力障害 有 (右・左) ・ 無

○麻痺 有 (右・左) ・ 無

○歩行状態 (自立・杖・シルバーカー・車椅子)

○職歴

[ \_\_\_\_\_ ]

○最終学歴 小学・尋常高等小学校・中学・高校(旧制中学)・大学

ご家族が記入してください（最初に受診した時の情報）

これまでかかった病気

- 糖尿病 有・無・不明（ 歳頃 ～ 現在治療中・治療していない）
- 高血圧症 有・無・不明（ 歳頃 ～ 現在治療中・治療していない）
- 心臓疾患 有・無・不明（ 歳頃 ～ 現在治療中・治療していない）
- 高脂血症 有・無・不明（ 歳頃 ～ 現在治療中・治療していない）
- 脳卒中（脳梗塞または脳出血）  
有・無・不明（ 歳頃 ～ 現在治療中・治療していない）
- 腫瘍 有・無・不明（ 歳頃 ～ 現在治療中・治療していない）
- がん 有・無・不明（ 歳頃 ～ 現在治療中・治療していない）
- 頭部外傷（打撲・交通事故など）  
有・無・不明（ 歳頃 ～ 現在治療中・治療していない）
- その他

てんかんや精神疾患など

- ご家族（両親や兄弟、子供）に認知症の方はいらっしゃいますか？  
有・無・不明（続柄： ）

ご家族が記入してください（最初に受診した時の情報）

## 先生に伝えたいこと、困っていること

当てはまる番号に○を記入して下さい。

例) ① もの忘れが増えた。(平成22年3月から 年 月頃まで・現在も)

- 1 もの忘れが増えた。( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 2 何度も同じことを聞く。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 3 曜日、日付がわからない。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 4 火の不始末がある。( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 5 止めても車を運転しようとする。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 6 訪問販売で高額な物を買ってしまうなど、金銭問題がある。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 7 昼夜問わず用もないのに外出しようとする。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 8 何もしようとしない。何事にも関心がない。(入浴、着替えを嫌がるなど)  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 9 抑制が効かない。社会的なルールが守れない。(万引きなど)  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 10 物や金品を盗られたとって大騒ぎする。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 11 誰かが危害を加えようとしているなどの妄想がある。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 12 ありもしない幻が「見える」「聞こえる」ようだ。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)

- 13 夜、寝ない。 ( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 14 気分が落ち込んで部屋に引きこもっている  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 15 ご飯を食べない。痩せが目立つ。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 16 トイレが間に合わない。トイレの場所が分からない。  
トイレ以外のところでしてしまう。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 17 外に出ると道に迷う。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 18 家族のことが分からない。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 19 大声で暴言を言ったり、物を投げたり、暴力がある。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 20 怒りやすい、興奮しやすい、気分が変わりやすい。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 21 理解できないような、異常な行動がある。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 22 食べ物ではないものを食べる。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 23 収集癖がある。物を隠す。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 24 近所や家族間、または他の施設利用者とトラブルがある。  
( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)
- 25 その他 ( 年 月頃から 年 月頃まで・現在も)

[ ]